

九州北部豪雨に伴う水害状況報告が 全員協議会で行われました。

床上浸水3戸、床下浸水149戸、農業被害等(いちご、グリーンアスパラ、青ネギ)17,333千円
商工会に報告されている商業被害等(営業被害除く)14,700千円

議員からの質問	行政回答
災害救助法の適用は	7月14日の時点では適用基準に達していないため申請していない
災害時要援護者の避難誘導は	箇所によっては消防車が出動し対応している
ハザードマップの見直しは	花宗川、山ノ井川を中心にマップ見直しを進める
初動体制は遅くなかったか	判断マニュアル作成が必要である
災害対策本部に議員も参加すべきでは	現在の体制は、特別職・職員としている情報収集に協力をお願いしたい
今回の災害に伴う社会資本整備は	河川道路の整備(かさ上げなど)について、県へ要望をしていく
今後、自主防災会の訓練などが必要ではないか	今後、地域防災組織の充実と災害時の連絡など支障がないよう検討したい
農林業災害に対応するため、排水対策、かさ上げなどへの事業に対する補助事業を積極的に取り組むべきでは	検討する
地域の方々の災害現場への協力(土のう積み)体制作りをお願いする	検討する
床上浸水者への見舞金支給予定は?	本町では、床上、床下浸水家屋への消毒剤の配布(消石灰)

た。を要望しまし
川の治水対策
上でも、本町河
と財産を守る命
が、住民の生命
況ではあります
も大変厳しい状
なか、財政的に
九州北部豪雨災害からの復興が急がれる



町長から要望書を事務所に提出している様子

今回の平成24年7月の九州北部豪雨により、筑後川水系に属する山ノ井川・花宗川の2本の河川が越水したことにより、大木町の河川流域の集落では床上浸水3件、床下浸水149件の住宅被害や農作物などへの被害が発生し、地域住民の生活と安全を脅かす危険な状況となったところです。

山ノ井川及び花宗川の 治水対策要望書を 県土整備事務所長に町と 議会の連名により提出

■請願書名 「少人数学級推進」、「義務教育費国庫負担制度拡充」を求める意見書採択についての請願書



■請願者 福岡県教職員組合三潴大川支部 支部長 鳥取 信

■紹介議員 徳永 豊

■要 旨

1. 少人数学級を推進すること。具体的学級規模は、OECD諸国並みのゆたかな教育環境を整備するため、小学校2年生以上の35人以下学級を早期に実現すること。
2. 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに、国負担割合を2分の1に還元すること。

政府における平成25年度予算編成にあたり、上記のとおり実現されることを強く要望されました。この請願書は、文教厚生常任委員会に付託され、採択されました。

■意見書名 「少人数学級推進」 「義務教育費国庫負担制度拡充」を求める意見書



■提出議員 小島裕司

■賛成議員 牟田口美智子 近藤純久 井上 護 山北清四郎 中島和正

この意見書を全員賛成で採択し、内閣総理大臣をはじめ、各関係機関に送付しました。

地球温暖化対策に関する 「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書



賛成11 反対1

■提出議員 中島宗昭

■賛成議員 中島征行 徳永 豊 古賀泰弘 松枝友久

■要 旨

二酸化炭素吸収源として最も重要な機能を有する森林の整備・保全等を推進する市町村の役割を踏まえ、「地球温暖化対策のための税」の一定割合を、森林面積に応じて譲与する「地方財源を確保・充実する仕組み」を早急に構築すること。

この意見書を賛成多数で採択し、内閣総理大臣はじめ、各関係機関に送付しました。

地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書(案)に対する

反対意見

地球温暖化対策には森林の保護が必要不可欠であること、またそのために福岡県森林環境税があることは理解できる。また恒久的な財源が必要である主旨には賛成できるが、「(地球温暖化対策のための税)の一定割合を森林面積に応じて譲与する」のうち「森林面積に応じて譲与する」の表現は、森林のない大木町にとっては不利益を被る恐れがありますから、その表現を削除願います。